

「情報公開文書」

医学部HP 掲載用

受付番号：

課題名：交流電場療法の有効性・安全性に関する後方視的研究および観察研究

1. 研究の対象

研究に参加いただけるのは、以下の項目にあてはまる方です。

- 1) 疾患名 2018年以降に初発膠芽腫と組織学的に診断された方
- 2) 発症時年齢18歳以上
- 3) 性別は問いません
- 4) 維持療法開始時、日常生活で介助が不要な方
- 5) テモゾロミド+放射線治療による初期治療を受けた方
- 6) 摘出度は問いません
- 7) ギリアデル・光線力学的療法を受けた方も含みます。
- 8) 研究参加について本人から（未成年者の場合は親権者も）文書で同意が得られる方

2. 研究期間

2020年8月（倫理委員会承認後）～2025年7月

3. 研究目的

本邦における初発膠芽腫に対する腫瘍電場療法の効果、安全性を明らかにすることを目的とします。本研究は多施設共同研究として、腫瘍電場療法施行可能施設の一部と共同して研究を進めます。腫瘍電場療法を受けた患者さん、受けなかった患者さんの両者を対象とし、診療情報を収集、腫瘍電場療法の効果・安全性を検討します。

4. 研究方法・研究に用いる試料・情報の種類

以下の治療開始時、治療中、治療後の情報を収集します。

- ① 患者背景：年齢・性別・腫瘍の発生部位・発症前の就業状況・介護者の有無
- ② 神経症状：KPS、意識状態、麻痺・失語などの巣症状の有無（維持療法開始前）
- ③ 治療内容：摘出時期（年月）、摘出率（残存病変の最大径）、カルムスチン脳内留置用剤の使用の有無、組織診断、放射線併用および維持テモゾロミド投与内容（休薬・中止など）・ギリアデル・光線力学的療法（PDT）使用の有無、テモゾロミド維持療法開始時期（年月）
- ④ 交流電場療法使用の有無・使用の場合使用期間・装着率、交流電場療法不使用・使用中止の理由
- ⑤ 交流電場療法使用に伴う合併症（頭皮・創部、けいれん、白質脳症）
- ⑥ 病理診断・MGMTプロモーター領域メチル化または免疫染色の結果
- ⑦ 再発の有無、再発様式

⑧ 生存・死亡日

⑨ 再発時の病理所見

6. 外部への試料・情報の提供

外部への提供の予定はありません。

7. 研究組織

東北大学病院以外の医療機関は「研究機関以外において既存試料・情報の提供のみを行う機関」として参加し、参加施設は別紙の通りです。

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理の方にご同意いただく場合には研究対象となります。下記の連絡先までお申出下さい。

個人情報の利用 出くたせり。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

東北大学病院脳神経外科 金森政之

〒980-8574 宮城県仙台市青葉区星陵町1-1

平日 022-717-7230、夜間・休日 022-717-7796

研究責任者： 同上

広島大学病院脳神経外科 山崎 文之

〒734-8551 広島県広島市南区霞1-2-3

TEL : 082-257-5481

個人 報の開示等に関する手続

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、本学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

1) 診療情報に関する保有個人情報については、東北大学病院事務部医事課が相談窓口となります。詳しくは、下記ホームページ「配布物 患者さまの個人情報に関するお知らせ」をご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学病院個人情報保護方針】

<http://www.hos.tohoku.ac.jp/rivac.html>

2) 1)以外の保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口に提出するか又は郵送願います。詳しくは請求手続きのホームページをご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学情報公開室】

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。
<人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 第9章第20の2(1)>

- ①研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③法令に違反することとなる場合

別紙

研究機関以外において既存試料・情報の提供のみを行う者

秋田大学大学院医学系研究科 脳神経外科学講座

旭川医科大学 脳神経外科学講座

新潟大学大学院医学系研究科 脳神経外科学

担当者氏名

清水 宏明

木下 学

村上 昭幸

大阪国際がんセンター 脳神経外科

九州大学大学院医学研究院 脳神経外科

京都大学大学院医学研究科 脳神経外科学

慶応義塾大学医学部外科 脳神経外科学教室

神戸大学大学院医学研究科 脳神経外科学分野

札幌医科大学 脳神経外科

静岡県立がんセンター 脳神経外科

筑波大学医学群 脳神経外科

東京女子医科大学 脳神経外科

東北大学大学院医学系研究科 脳神経外科学

浜松医科大学 脳神経外科学講座

弘前大学大学院医学研究科 脳神経外科学講座

福島県立医科大学医学部 脳神経外科

有田 英之

吉本 幸司

荒川 芳輝

戸田 正博

篠山 隆司

三國 信啓

林 央周

石川 栄一

新田 雅之

金森 政之

黒住 和彦

浅野 研一郎

藤井 正純

山梨大学医学部附属病院 脳神経外科

奈良大学医学部 脳神経外科学教室

木内 博之

寺垣 其雄

横浜国立大学大学院医学研究科 脳神経外科学

山本 哲哉

北海道大学大学院医学研究院 脳神経外科
北里大学医学部 脳神経外科
名古屋市立大学大学院医学研究科 脳神経外科
和歌山県立医科大学 脳神経外科

山口 秀
隈部 俊宏
間瀬 光人
中尾 直之